

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

一遍上人のフライバイ

会長 平林 久

一遍上人は鎌倉時代中期、浄土宗の坊さんとして一途に捨て切った人生をつきすすんだ上人でした。

臼田宇宙空間観測所は、北ハヶ岳の山麓にあって、白い64mアンテナが探査機との通信をになっています。この地籍は上小田切といいますが、一遍上人たちが踊念仏を始めたのはアンテナからちょっと下った小田切の里だということに気づきました。

相模原の宇宙科学研究所からちょっと南の当麻にある無量光寺は、一遍がお告げにより開いて、2回滞在したところだ。それで本堂跡には等身の像が立っています。一遍上人絵巻にも出てくる独特の顔かたち、歩きださんとする姿そのままで。実はこのレプリカ像がまた、宇宙科学研究所隣の相模原市博物館にも立っているのです。



イラスト 平楠珍画伯??

さらにまた、一遍上人の開いた時宗の総本山は、おなじ神奈川県藤沢の遊行寺です。鎌倉に入る前の片瀬でも盛大な踊念仏が行われたそう。こうして、一遍上人はあたかもながい旅の中で、宇宙科学研究所の要所をフライバイしていった探査機のような光子？

一遍上人は貴賤を問わず、念仏によって人は救われるという、明快な信念を人々に触れてまわっていました。世にこれほど徹底して実践した宗教家はいたでしょうか。

一遍さんの想いはどう継続していくのだろう、それぞれはどう生きていくのだろう。その後の時衆は？
こんなことを考えさせられます。子ども・宇宙・未来の会に集まった私たちはどのように進んでいくのだろう。そんなことも考えます。

一遍上人は、熊野権現となつてあらわれた阿弥陀如来を通じて、大事な考えを感じましたということになっています。あれ、KUMAの権現？

図書館から一遍上人絵伝のコピー本を借りて眺めています。布教の旅(遊行)にでかけるシーンには弟子と尼さんと女の子が同行する、謎めいた部分です。優しく白く桜の花が咲いてい



巻の中で僧俗も、貧しい人々や病者も優しく描かれています。そして16年の旅の終わりで上人が亡くなり、あとを追って入水する弟子や病者が流れていきます。そうして絵巻は静かに終わります。

平成28年度KU-MA 活動予定 (4月~6月)

- ・「宇宙の学校」全国55校(予定)でスタートいたしました。
新規校は岡山県新見市、和気町、沖縄県沖縄市など
- ・おとなの「宇宙の学校」国分寺市、相模原市(予定)
- ・企業CSR支援 三菱重工業株式会社、CKD株式会社
- ・5/24(火) 第1回理事会
- ・千代田区環境月間講演会 講演とワークショップ
-宇宙でのリサイクルとロケット-
- ・6/13 通常総会

熊本地震のお見舞い

熊本・大分で発生している地震の被害により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
熊本県2名、大分県1名の会員の方がいらっしゃいます。一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



KU-MA とわたし

愛知県小牧市で活動する NPO 法人こまき市民活動ネットワークが何故、KU-MA とつながったのか？それはひとえに、小牧にある三菱重工株式会社名古屋誘導推進システム製作所 O B である故佐橋克己さんとの出会いがあったからに他なりません。

当ネットワークの前代表理事、松田敏弘さんが、共に参加していた「小牧市環境市民会議」を通じて佐橋さんと懇意になり、市民活動支援組織への参加をお願いした結果、快く活動にご協力いただいたことがきっかけです。佐橋さんの働きかけで、当ネットワークと KU-MA さんの協働事業が大々的に開催されたのは 2008 年のこと。

「織田信長サミット」開催に向けた「こころのリレー講演」と題し、『ものづくりの日本力』講師 山根一眞さん/元 NHK キャスター、『棟梁 匠のこころ』講師 小川三夫さん/鶴工舎 舎主、『好奇心』講師 佐藤勝彦さん/宇宙物理学者 東大名誉教授のお話を聞く機会を設けさせていただきました。信長と宇宙、一見つながりそうにないテーマですが、「信長は小牧山に城を構えた 4 年間、夜空を見上げながらどんな夢をみていたのだろう・・・」と、そんな佐橋さんとの夢の語り合いにより、KU-MA の皆様とのご縁が出来たわけです。

その後の国指定史跡「小牧山」の継続発掘調査で信長時代のおびただしい石積みの遺構が発掘され、日本初の「石垣を持つ城」日本初の城下町を形成したまちであることが判明、たびたびテレビ番組でも取り上げられるようになりました（東日本大震災で多くの文化財が被害を受けた中、小牧山で大量の石垣発見のニュースは文化庁でも大注目となったようです）。

その後、佐橋さんの働きかけにより、地元の有力企業さんの 1 つ CKD 株式会社の社会貢献事業として、KU-MA との協働事業「CKD「モノづくりから学ぶ理科教室」」の企画と運営をコーディネートさせていただくことになりました。

この会社は空気の力を使った様々な

機械を製造していることから、遠藤純夫先生に講師役を務めていただき、多くの親子連れに楽しく科学を学んでいただきました。今年も、人気の継続事業として開催予定です。

まさに、佐橋さんとの出会いにより、KU-MA の皆様とつながることができましたが、何事にも熱い気持ちで体当たりしてくださった佐橋さんも、病には勝てず、平成 27 年 1 月に他界されました。「人を駆り立てる価値とは何か・・・」を口癖の様に仰っていた佐橋さん。まさに、KU-MA さんは、「人を駆り立てる価値、夢を追いかける気持ちを後世に伝えて行ける団体」なんだろうと思います。

今回の寄稿にあたって、故佐橋克己さんに感謝し、そのご冥福をお祈りしつつ、KU-MA の皆様の今後益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。



▲こまき市民活動ネットワーク総会 集合写真

ー「宇宙の学校」で出会ったことー

ある「宇宙の学校」へ事務局スタッフとして参加した時のことでした。その日は、スクーリングの最終回で実験と発表会のある開校式の日でした。実験を終えて、発表会が行われました。家族でみんなの前に出ておうちで行った実験や工作をみんなに伝えてくれました。全員の発表が終わり、修了証が配られ、片づけもみんな協力して終了しました。

すると帰り際に女の子とお母さんが近づいてきて、声をかけてくれました。お母さんのおはなしでは、その女の子が普段とても大人しくて、あいさつも恥ずかしがってなかなかできないようなお子さまで、発表が嫌だと話していたので、発表のことが大変心配だったそうです。



全部終わって帰り際に、「今日一番楽しかったのは？」と聞いたら、「実験よりも発表だった」と答えたことを嬉しそうに話してくれました。女の子は「楽しかった」とにこやかにお母さんのとなりで笑っていました。そして、先生にありがとうごさいましたと元気にあいさつをして帰って行きました。嫌なことでも楽しいことに！経験は力！うれしい瞬間でした！（い）

菊地：宇宙に関する記事を書くようになったのは？
林：YAC（宇宙少年団）情報誌の編集の仕事に就いたのがきっかけです。子供たちと一緒に宇宙を学ぼうと。
菊地：宇宙の話題を子供たち向けに書くのは難しいですね？
林：はい、いい加減な説明では子供は納得しませんし、中には非常に詳しく知っている子もいます。
菊地：どんな工夫を？
林：取材に子供たちを連れて行くようにしました。子供たちが質問すると、相手も子供にわかるように説明してくれます。
菊地：子供たちにもいい経験になりましたね。
林：当時一緒に活動した子供たちの中には、今もつながっている人たちがいるんですよ。
JAXA やメーカーで宇宙の仕事をしている人もいます。（笑顔）
菊地：それはうれしいですね。最近はどうな仕事を？
林：国立天文台の仕事で、ハワイの「すばる」望遠鏡に行きました。性能の高さを誇る「すばる」を支える裏方のご苦労に驚きました。機器や装置の精度が高いだけではだめなんです。それを包むドームの保守点検や職人的な装置交換など、毎朝 5 時から高所で働くスタッフたちの過酷な労働があつて初めて、毎晩観測できる。夜中也交替なしで数人で望遠鏡を運用しています。舞台裏を支える人たちの苦労を、多くの人に知ってもらいたいと思います。（レポーター：菊地 涼子）

今回は、宇宙に関する話題をわかりやすく伝えてくれるライター、林公代さん（会員の）のお話です。



▲バイコノールにて
左：林 公代さん 右：菊地 涼子理事

2015 年度 KU-MA な日々 -Once upon a time-



▲KU-MA 小川 理事（宮大工棟梁）相模原「宇宙の学校」開校式で指導！



▲新宿区立養護学校内重症心身障害児自立支援活動 ひまわり HAUS のみなさんと。



▲おとなの「宇宙の学校」国分寺 的川先生講演



▲企業 CSR 支援 MHI 広島製作所 空気の力や性質についての理科授業



▲座間キャンブ米軍住宅内 Arnn Elementary School で子どもたちと傘袋ロケットを楽しみました



▶平林先生にアルジャジーラの取材がありました。（アルジャジーラは中東を代表する報道機関でアラビア語と英語で国際ニュースを放送している衛星テレビ局です）



▲企業 CSR 支援 CKD 株式会社 モノづくり教室 遠藤先生 ご指導！

■KU-MA 活動紹介【平成 28 年 1 月～4 月 活動報告】



▲国分寺 レポート発表 模様

【宇宙の学校】

各地域の最終スクーリングでレポート発表会が行われ、全ての学校が閉校式を迎えました。発表会では、発表者だけでなく、発表を聞いて積極的に質問する子どもたちの姿もたくさん見られました。開催の様子は当会のホームページで紹介しています。

2015 年度は、全国で約 2,400 家族が参加し、各地域で開催されたスクーリングは 197 回、2009 年から現在までの参加のべ人数は 10 万名を超えました！

【イベント支援】

- ・2/10 新宿区養護学校ひまわり HAUS 放課後活動「宇宙の教室」
- ・3/5 レガスサイエンスフェスタ 出展
- ・3/12 青梅市立第三小学校イベント
- ・3/24 米軍住宅内 イベント支援
- ・3/31 日野市わくわく体験術 出展

【その他】

- ・3/11 KU-MA27 年度第二回理事会
- ・4/2.3 相模原市さくらまつり出展
- ・4/26 事務局ボランティア懇親会



▲事務局ボランティア懇親会ランチ模様

【企業 CSR 支援】

- 2/8.9 MHI 広島製作所ものづくり教室
- 3/17.18MHI 本社 港区立港南小学校 理科授業支援
- 3/29 MHI 相模原製作所 おもしろ実験教室



●企業 CSR 活動 支援

企業の社会貢献活動のモノづくり教室や理科授業などにおいて、子どもたちの発達段階に応じた学習内容と企業の製品を関連付けたプログラムの企画提案、開催支援など、連携協力を行っています。

■私の本棚

50億年の孤独 ―宇宙に生命を探す天文学者たち―

リー・ビリングス著 松井信彦訳 早川書房

太陽系外に惑星がどんどん見つかるようになって、次第に地球に似た惑星が報告されるようになりました。さらにその惑星を調べるために未来の大望遠鏡が、地上でも宇宙でも計画されています。それがどのように、いつ、実現するのでしょうか。そして人類は、これはと思う惑星系に向かって探査機を星間に送り出すときがくるのでしょうか。

本書は、研究者へのインタビューを重ねた読み応えのある科学書です。最終章は科学の未来の可能性と不確定性を対比させ、また研究者の情念を際立たせています。

(平林 久)



■KU-MA なひとびと



▲新郎新婦と5人の理事

事務局の田口裕一（たぐちひろかず）さんと元アルバイトの俣野綾子（またのあやこ）さんが4月に結婚されました。『37年の孤独』が解消?!（笑）おめでとうございます!! おふたりで素敵な未来を築いてってくださいね。

■会員状況(平成 28 年 5 月現在)

正会員 254 (個人: 231 学生: 0 企業・団体: 23)

賛助会員 53 (個人: 36 企業・団体: 17)

みなさまの会費や寄付金が運営費の一部となり、KU-MA 活動を展開させていただいております。日頃の支援に心より感謝を申し上げますとともに、引き続き、活動および活動資金へのご協力をお願いいたします。

■事務局よりお知らせ

平成 23 年に取得した認定 NPO 法人の 5 年間の期間が満了いたしました。本年 4 月 16 日以降の寄付金および賛助会費としてご支援くださった方々へ税制上の優遇措置が得られなくなりました。

今後につきましては、さらにより良い活動を続け、次期、平成 30 年の申請をめざし活動をしてまいります。引き続き、ご協力、ご支援をお願いいたします。

■会員募集中!!

◇正会員: KU-MA のミッションに賛同し、活動を推進する個人/法人・団体
年会費 個人: 10,000 円(学生 5,000 円)、法人・団体: 50,000 円

◇賛助会員: KU-MA のミッションに賛同し、寄付いただける個人と法人・団体
年会費 個人: 1 口 1,000 円、法人・団体: 1 口 50,000 円

※個人賛助会員への会員証、メールマガジンの送付は 5 口以上からです。

■会費や寄付金のお振込先

【会費や寄付金のお振込先は下記の口座へ】

横浜銀行 淵野辺支店 普通預金 1768456

特定非営利活動法人子ども・宇宙・未来の会
会長 平林久

今あなたができる未来のこと
子どもたちの未来を拓くキーパーソンはあなたです

NPO法人 子ども・宇宙・未来の会 「宇宙の学校」事務局
〒252-5210神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1 JAXA内
電話・FAX: 042-750-2690
E-mail: KU-MAs@ku-ma.or.jp
ホームページ: <http://www.ku-ma.or.jp>
「宇宙の学校」は、JAXA宇宙教育センターと当会の協働事業です